

	<p>第70号 発行日 平成25年3月16日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 森崎 裕香子 事務局 野上 千賀子 (Tel.097-532-6850)</p>
--	---

おかげさまで70号になりました

お互いの立場を思いやって

ご協力ありがとうございました

・・・平成24年度役員より・・・



会長 森崎裕香子

春の風を少しずつですが感じます。要約筆者養成講座が始まりました。受講時間は二年度にまたがり全84時間(21回)でより専門性の高いものが求められています。新テキストの第9章に「伝達の学習」があります。私自身、色々な場面で誤解なくスムーズに伝えることができていたかを自問自答しています。これを今後役に立てたいと思っています。今年度、公益法人「車両競技公益記念財団」の助成金で要約筆記には欠かせない機材を購入することができました。終わりにりましたが、各関係機関の御助言、御助成に感謝とお礼を申し上げます。

事務局 野上千賀子

継続して取り組んでいる、要約筆記周知事業の一環で、今年度は「パネルディスカッション 学びの場の聴こえは大丈夫？」が大きな行事でした。東京から先生をお呼びしたり、難聴児の親の会、難聴者協会、ろう学校の先生など多方面の方々に協力をいただきました。会員が一丸となって取り組む行事は、労力がいりますが、得るものも大きいと実感しました。周知事業は継続が大切です。じわじわと滲みこむ地下水がやがて泉となって湧き出るように、地味な努力を続けていきたいものです。



会計 神田れい子

二年前に、会計を担当する事になった時、少しでもお役に立てればと思っていましたが、得ることの方が多かったと実感しています。意欲的に活動される皆様方を目の当たりにして刺激され、また、様々な行事に関われたことで新たな経験をさせていただきました。皆様方のおかげで頑張れ充実した二年間を送ることができました。ありがとうございました。



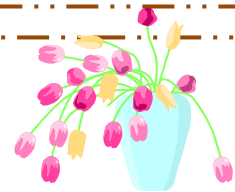
企画部 小寺 淑子

思い起こせば6月に、第一ホテルでのビアガーデンに参加、9月には待望の梨狩りへ(個人的には道に迷い、迷惑をかけました)。そして、3月16日の交流会。エコバック、いいのができましたか？生の落語を聴き、それを要約筆記するという無謀？な企画も楽しんでいただけただけでしょうか？皆様の参加、ご協力に感謝します。本当にありがとうございました。

手書き研修部 広瀬美智子

一月は行く、二月は逃げる、三月は去るといいますが、一日々々が、あっという間に過ぎていく今日この頃です。

手書き研修部を担当して、二年が過ぎました。あっという間ではなかったですが、今は「終わったなあ」という感じでほっとしています。振り返ってみるとお役にたてたのかどうか反省ばかりです。手書き研修部としては学習会をどのようにすすめていくか、部員のかたと真剣に話し合いました。講師の方にも学習会を担当して頂きました。色々やってみましたが未熟さゆえにうまくいかなかったこともあります。しかし、その都度、先輩からアドバイスを頂き、おかげさまで私も多くのことを学び、すべて無駄なく吸収したように思います。また、いつもながら学習会に参加してくださった皆様の向上心には頭が下がる思いです。これからも共にごがんばりましょう。皆様ご協力ありがとうございました。



パソコン研修部 平野美佐子

今年度よりパソコン研修部を担当させていただきました。

花粉症に年度の終わりを実感しています。新しく入った方からベテランの方まで学習会に出ることで何かが得られればと思い、研修部の皆さんの協力を得ながらすすめてきました。今年度は手書きの方との合同研修も増やし手書きの方とも交流を図ることができました。皆さんのおかげで、1年間の学習を進めることができ、ホッとしています。ありがとうございました。

広報部 三重野真由美

今年度は会員分の広報誌をカラー印刷にしましたが、いかがでしたでしょうか？広報活動を通して、要約筆記活動、交流などたくさんの場面で貴重な体験をさせていただきました。広報部員の皆様に支えていただき 無事3号発行することができました。皆様には急な原稿の依頼にも応えていただきました。ご協力ありがとうございました。



「災害時に備えた地域づくり」を進めよう

—大分市ボランティア連絡協議会会員研修会—

平成24年11月7日午前9時30分から大分県総合社会福祉会館で上記研修会が開催された。今回の研修目的は、『災害時に備えた地域づくり』について学ぶとともに、グループ会員内の理解を深めることを目的とするものである。協議会の会長 幸 紀人氏から挨拶の中で「南海地震による津波想定が改定され、大分県沿岸部の甚大な被害も想定されている。我々もこれらの災害に備え、本日の研修の中で、諸問題について学び、万全の準備を行っていきたい」と述べられた。引き続き、県社会福祉協議会 村野 淳子氏による基調講演が行われた。同氏は、中越地震、東日本大震災の現地に赴き、「避難所」などを中心に積極的に支援活動を行っており、また、全国的な災害支援団体の役員としても活躍されている。講演要旨は次の通りである。「東日本大震災の際に、早い時期に現地に入り避難所の支援活動を行ってきた。緊急的な対応で、避難所の中は大変な混乱状態であった。とくに避難所を運営する組織体制が未確立であったこともあり、色々なトラブルが起こっていた。援助品の管理、災害弱者への配慮等が全く見られなかった。このことも一因となり、助かった命を避難所で失った方が千人近くに達した。県社会福祉協議会では、大分県内の自治体関係者に避難所生活の疑似体験をしてもらい、その問題点を体感し今後の活動に生かしてもらおう訓練を行った。(NHK NC9で全国放送「災害時に備えて」) 北部九州豪雨では、日田、中津、竹田地区を訪問したが、特に、本耶馬溪では、自治会が中心となって、組織的に、要援護者の支援を行っていた。災害時においては、災害発生→避難行動→避難所生活→仮設生活という経過となるが、各時点での対応は、対象地域(自治区、校区等)の住民が中心となって取り組んでいかざるを得ない。従って、地域内に災害時を想定した関係住民の役割分担を定め、平常時から、その組織が緊急的に活動できるような「地域づくり」を進めていくことが減災のために必要である」以上に引き続き各ボランティア団体から活動報告があった。(望月)



小寺 淑子

「ぶんご梅」。このタイトルを見るたび、でっかくて酸っぱい梅干しが頭に浮かぶ。
夫の実家には、何種類かの梅の木がある。梅干しはおかあさんの手作り。いつもあたりまえに貰って帰っていた。
おかあさんが亡くなった翌年、「梅の実は全部もいだし、庭にはシソの葉もよおけある。用意はできたで」とおとうさんから電話。「えー、私が漬けるんね。したことないのに」。内心文句をいいながら『漬物』の本を持って佐伯に走った。

梅の種類が多い分、大きさもさまざま。
おとうさんと夫の会話から推察すると「ぶんご梅」が特に立派で大切にしているらしい。梅干しはそれに決めた。
その他は全部梅酒に漬けた。

庭のシソの葉だって、1本でも残しておいたら悪かろうと、全部抜いて大量に塩もみした。

さて、日にちがたち、立派な赤々とした梅干しができあがった。昔の本を見て作ったので、塩分20%と超力ライ(お店で売ってる減塩タイプは3%とか7%とかだ)しかもデカイ。とても一膳のごはんでは太刀打ちできない代物だ。

それでもおとうさんの食卓には、いつも梅干しがあつた。毎年作るうちに、小さな青梅は梅干しに、ほんのり赤味がさしたのは梅酢味噌に、香り高いぶんご梅は梅酒に、と漬け分けるようになった。

今では「梅の実をもいだで」と電話をくれる人もいなくなってしまうが、今年もまた、梅の実に呼ばれるように佐伯へ向かうことになりそうだ。

(ぶんご梅は創刊以来続けている会員のエッセーです。)

大分県要約筆記者養成講座に参加して

平成24年度と平成25年度の2カ年にわたり、大分県主催の事業として要約筆記者養成講座が平成25年1月13日から始まりました。

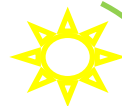
要約筆記奉仕員講座修了者は、ステップアップ講座の8回受講で要約筆記者養成講座修了者とみなされるとのことで、ステップアップ講座への参加です。



全講座受講も可能とお話でしたが、毎週土曜日6カ月間の21回に参加するのは、仕事上の都合もあり参加できなく断念しました。今回の講座は、社会福祉の専門家による講座も準備されており、高齢者施設に勤務しているものとして、より興味深く、楽しみにしています。

実際、職場では老人性難聴の利用者も多く、コミュニケーション方法として要約筆記が役立っているのか、検討する必要があると思いますが、高齢者施設にとって情報保障という考えが希薄なのも実情です。

今回は、全国統一要約筆記者認定試験の受験資格を得るための受講として参加していますが、この講座を通して、自分のスキルアップだけでなく、聴覚障がい者の実情についても理解を深め、障がいと向き合うとはどういうことか、私たちは何が出来るのか、を真剣に考えていきたいと思えます。(山口)



養成講座の開催(その7)

児玉 幸代

「陽ざしの会」では、前年に引き続き本年度も養成講座を計画。昨年の反省に立って、期日を増やし実技の時間も増加し、同時に年間の学習計画にも力を入れました。その結果、活動範囲が広がるにつれ、そのかけでは活動費に苦しんでいたのもともとボランティア活動として発足した会ですから当然の事ですが・・・。

おりしも、会長の中嶋さんがご主人の転勤で、大分を去られることになったのです。大分の地にこの会を築いて下さった事への感謝は今でも私の胸に深く刻まれています。半年近くも会長不在のまま、私はこの会を絶対に絶やすことはできないと思いい、現在も唯一の同期生としての河野キヨさんと、県の「障害福祉課」を訪れ、会の活動状況と経営の困窮をお話しました。県の方は温かく受け入れてくださり、早速来年度から補助金を支給して下さることにになり、会を継続できると心から県に感謝しました。しかし、学習会や研修会などの出席は全部自己負担のためか、発足二年目には五十名を超えた一期生の会員は半数以上退会、三期生の新会員を迎えても当初の会員数には及ばなかったのです。思えば当時、私も毎月の生活費は殆んど交通費として消えていたのです。それでも、この会は今日まで現存しています。発足以来現在までその時、その時の活動をしっかりと繋いでくださった方々の賜物だと有り難く思っています。

要約筆記の勉強部屋 Part III

～新人・筆子の覚書～



いよいよ、3回目となりました筆子の勉強部屋です。
勉強しなくちゃ、って焦ってばかりで、思うようにはかどって
いませんが、皆さんはどうでしょうか？
もっばら、陽ざしの会の勉強会に参加しながら、楽しく地道に
勉強を続けています。

今回は、要約筆記参考書をご紹介します。

話しことばの要約—要約筆記の探求から

著者：三宅 初穂

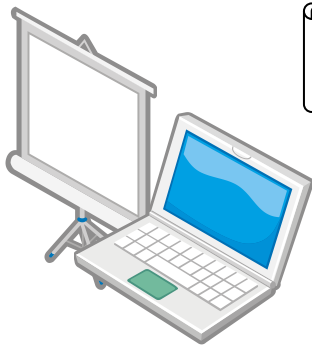
絶版となっていた「話しことばの要約」の新刊です。書き方より「聞き方」
を教えてくれると、「うまく要約できない」と悩む人におすすめの一冊です。
出版社は（特非）全国要約筆記問題研究会、価格は 2200 円です。



字が話す目が聞く—日本語と要約筆

著者：上村 博一

要約筆記者対象の「日本語講座」の講師である著者が、「コミュニケーション」「情報の
伝達」について見直し、コミュニケーションの場で「文字」が話す「要約筆記（通訳）」
のアウトラインを紹介する一冊です。出版社は新樹社、価格は 1260 円です。



パソコン要約筆記入門

著者：太田 晴康

パソコン要約筆記初の入門書です。絶版で購入不可ですが、ご本人
のサイトで PDF 化された本書を読むことができます。
パソコンの情報は古いですが、勉強方法や要約の仕方などが細かく
説明されており、練習に役立ちそうです。

こちらからどうぞ。→<http://www006.upp.so-net.ne.jp/haruyasu/pcyhn.html>

できる人の要約力

著者：本間 正人、浮島 由美子

コミュニケーションスキルをつけるためのビジネス書ですが、「相手の考えや言いたいこと
をつかみ、まとめ、言い換える能力」を身につけるための、実践編もあり練習材料に役立つ
一冊です。出版社は中経出版、価格は 1470 円です。

1月の学習会

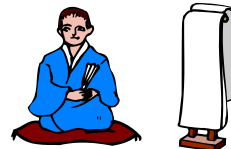
手書き

てん しつ き

落語『転失気三遊亭圓生』の要約筆記に挑戦!

今年初の学習会は、新年にふさわしく楽しそうなテーマで始まりました。

まず、OHCとOHPを一台ずつ設置しましたが、新しく購入したOHCにはまだ不慣れな為、設置し終わるまでにかかり時間がかかってしまいました。出来るだけ学習会などに参加して、新機種に触れておくことが大切です。



実習では2グループに別れ、どのように書くか(会話の処理など…)の打ち合わせをした上でスタート。ご存知の通り、落語は話し手が一人で何役もこなしながら話が進んでいきます。話の流れをきちんと押さえつつ

“笑いのツボ”が伝わるように書かなければなりません、テンポの速い短い会話のやり取りや川柳の引用など、かなり苦戦を強いられました。最後に、落語の要約筆記をする際のポイント・注意点などを話し合い終了となりました。皆さんもご自宅で挑戦してみてはいかがでしょうか？(青木)



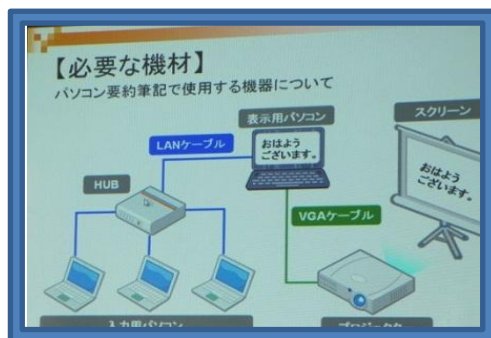
パソコン

パソコンについての基礎を深めよう!

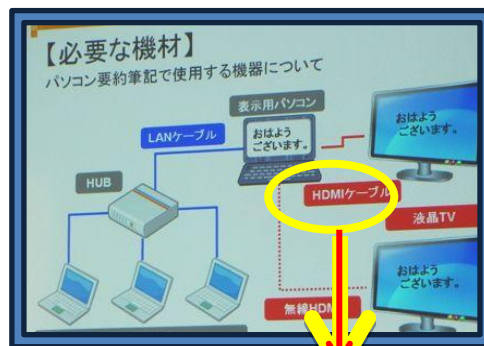
1月の学習会は会員の岩田 昌行さんを講師に、パソコン要約筆記で使用する機器について、復習を兼ねた学習を行いました。内容は、

- ・パソコンの歴史の流れ(OS・CPU)
- ・32ビット、64ビット ・設営の確認
- ・IPアドレスとは・セキュリティについて…です

早速、出席者から「また講座を!」と、次回の講座の要望がありました。(阿部)



パソコン要約筆記、通常の設定



アナログから
デジタルへ変換。



新会員の皆さんです！



安藤 友美



○趣味：ペットのイン」と遊ぶこと。

○はじめるきっかけ：市報に募集が載っていて、興味を持ち、はじめました。

○要約筆記への意気ごみ：聴覚に障害がある人は、みんな手話ができると思っていました。講座を受講してから、手話ができない人もいるのだと知りました。私は技術的にも精神的にも未熟で、いたらないところばかりありますが、聞こえない人の耳となり寄り添って歩いていけるような要約筆記者になりたいと思っています。会員の皆様方にはご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導いただけますようお願いいたします



久松 久仁子



○趣味：海外ドラマを見る。美味しいものを食べる。

○はじめるきっかけ：会社に入社したとき指導担当になりました。はじめ

は全く筆談だけでしたが、健聴者へ指導するときの5倍以上時間がかかり、仕事が進まず困り手話を勉強しましたが、未熟な手話と筆談ではほとんど変わりなく、困って手話仲間に相談したところ、要約筆記のことを教えていただきました。

○要約筆記への意気込み：体験して実感したことで、通訳することの重要さを痛感しました。これからもっと技術向上の熱に頑張りたいと思います。



井口 美和子



○趣味：ドライブ、声楽

○はじめるきっかけ：聴覚障害者のイベントで要約筆記の存在を知り、興味をもちまし

た。
市報により講座の受講生を募集していたため、はじめました。パソコンコースを受講しました。

○要約筆記への意気ごみ：新しいことを知ることができて楽しいです。いろいろなことを学んでいきたいです。皆様にご迷惑をかけないよう、がんばります。よろしくお願いいたします。



日野 路子



○趣味は映画で、“ローマの休日”や“ショーシャンク空に”等が大好きです。その他にも最近が多忙のため家でTVの韓流ドラマ（日曜夜）にハマっています。

○要約筆記への意気込み：要約筆記は受講して改めて大変さがわかりました。勉強会等にもできるだけ参加して困っている方のお役に立てられればイイナアと思います。

一緒に楽しく
頑張りましょう



大分県難聴者協会の新年会に参加して



☆1月23日、初めて新年会に参加しました。短い時間でしたが、昨年の懇親会でお会いした方とも再開できて、とても楽しく過ごせました。要約筆記の勉強をしてからまだ日も浅く経験もなくなかなか難聴者の方たちと関わりを持つことも難しいので、参加してよかったと思いました。また、諸先輩方ともコミュニケーションがとれたので、充実した時間となりました。



ありがとうございました。(久松久仁子)



☆初めての現場でのノートテイクがこの新年会でした。横に座られた難聴者の方にうまく会話の内容が伝えることができるのか始めは本当に不安で、どうしよう、先輩方、席を替わって～という思いでした。必死で聴き、書き、食べ、飲み・・・と、楽しい新年会初参加でした。会員10名が参加、全体で16名楽しく、充実した時間でした。ありがとうございました。

(三重野)

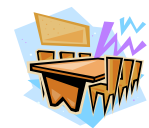
「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」にご協力ありがとうございました。65,100円のイオンギフトカードを頂けることになりました。来年度も登録予定ですので引き続きご協力よろしくお願ひ致しま



陽ざしの会総会開催のお知らせ

日時 平成25年4月20日(土)

場所 大分県社会福祉会館 2F



詳細はハガキにてお知らせいたします。

編集者のしづまき

野上さんから「八神純子さんが歌う『さくさく証書』って知ってるっしょい曲よ、聴いてみて」と言われ早速ユーチューブで♪♪♪ すると、今の私の心境とピッタリと合って、同じくぼろり・・・今頃になって、披露宴で流れた息子との今までを思い出した。が、お嫁さんにバトンタッチ完了!

